

2nd sports & Oxidative stress · Anti-oxidant Seminar

第2回 スポーツと酸化ストレス・抗酸化 セミナー

～2020年東京オリンピック・パラリンピックでの日本代表選手の躍進に向けて～

会場 秋葉原コンベンションホール
東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル2F

日時 2015年11月1日(日) 12:30～17:00(受付11:45～)

参加費 一般¥10,000 ユーザー¥5,000円 *通訳付

定員 150名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

懇親会 参加費：¥5,000
場所：秋葉原UDX3F「鹿鳴春」 時間：17:30～19:00

主催 株式会社ウイスマー／国際酸化ストレス研究機構(日本)

後援 International Observatory of Oxidative Stress (Italy)
株式会社ディアクロン・ジャパン



アスリートコンディショニングにおける酸化・抗酸化コントロールと酸素注入法の活用

昨年10月に開催いたしました「第1回スポーツと酸化ストレス・抗酸化セミナー」は定員越えの来場者を頂き、盛況で意義あるセミナーとなりました。

この1年間で「スポーツ選手の体調がd-ROMs・BAPテスト結果に現れている」ということが、多くの先生方のご研究から一層明らかになって参りました。

第2回目となる本セミナーでは、「体調やパフォーマンスと酸化ストレスd-ROMs値・抗酸化力BAP値との関係」を一層掘り下げ、「酸化ストレス・抗酸化力のコントロール方法」としての抗酸化食品やサプリメントの検討、そして「酸素注入法の検証と有用性」がテーマとなります。

東京オリンピック・パラリンピックが5年後に迫っております。酸化ストレス・抗酸化力測定の有用性とそれらのコントロール法、そして酸素注入法をより多くの競技指導者、競技支援者および競技者に知って頂ければ幸いです。

株式会社ウイスマー 代表取締役 関 泰一

特別講演

福島大学 人間発達化学類 / 教授 / 医学博士
福島大学 陸上競技部 / 監督

川本 和久 先生

演題 ● スポーツトレーニングとd-ROMs/BAPの関係を探る

教育講演 2

外科医、スポーツ医学・美容医学専門医(イタリア)

Domenico Amuso 先生

演題 ● 酸素注入法の効果とその施術法

講演 2

東京学芸大学教育学部 芸術・スポーツ科学系 健康・スポーツ科学講座 准教授

宮下 政司 先生

演題 ● 生活習慣介入が酸化ストレス指標に及ぼす影響

講演 4

帝京大学 帝京八王子接骨院院長

大圖 貴三 先生

演題 ● 接骨院にて遭遇するコンタクトスポーツ外傷に対する酸素注入法の活用例

講演 6

かみもとスポーツクリニック 理事長

上本 宗忠 先生

演題 ● 急性筋損傷に対する経皮的酸素注入療法

講演 8

ラヴィータ メディカル クリニック 院長

森島 淳友 先生

演題 ● スポーツ選手におけるBAPミネラルの大きい可能性について

教育講演 1

国際酸化ストレス研究機構イタリア 会長

Eugenio Luigi Iorio 先生

演題 ● スポーツ医学から見た酸化ストレス評価の重要性

講演 1

株式会社ウイスマー 代表

関 泰一 先生

演題 ● アスリートのd-ROMs/BAP値の意義とその改善を目指して

講演 3

大東文化大学 スポーツ健康科学科 教授

田中 博史 先生

演題 ● 定期的な酸化ストレス測定は 駅伝選手の有効なコンディショニング指標になる

講演 5

弘前大学大学院保健学研究科、講師、博士(保健学)、理学療法士

藤田 俊文 先生

演題 ● 経皮的酸素注入後の組織酸素化動態 および酸化ストレス・抗酸化力の変化

講演 7

福島県文化スポーツ局スポーツ課 / 指導主事
福島大学 陸上競技部 / コーチ(女子100m日本記録:11秒36)

二瓶 秀子 先生

演題 ● d-ROMs/BAPテストからコンディションを探る

講演 9

昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 医薬品評価薬学部門 教授

岩井 信市 先生

演題 ● カテキンと抗酸化力のスポーツに対する可能性について



お申し込み・お問合せ

株式会社ウイスマー／国際酸化ストレス研究機構(日本)
TEL : 03-5802-7333 FAX : 03-5802-7332 E-mail : info@wismerll.co.jp



プログラム 予定

講演1	関 泰一 株式会社ウイスマー 代表 演 題 ●アスリートのd-ROMs・BAP値の意義とその改善を目指して
講演2	宮下 政司 先生 演 題 ●生活習慣介入が酸化ストレス指標に及ぼす影響
講演3	田中 博史 先生 演 題 ●期的な酸化ストレス測定は駅伝選手の有効なコンディショニング指標になる
教育講演1	Eugenio Luigi Iorio 先生 演 題 ●スポーツ医学から見た酸化ストレス評価の重要性
休憩	
講演4	大圖 貴三 先生 演 題 ●接骨院にて遭遇するコンタクトスポーツ外傷に対する酸素注入法の活用例
講演5	藤田 俊文 先生 演 題 ●経皮的酸素注入後の組織酸素化動態および酸化ストレス・抗酸化力の変化
講演6	上本 宗忠 先生 演 題 ●急性筋損傷に対する経皮的酸素注入療法
教育講演2	Domenico Amuso 先生 演 題 ●酸素注入法の効果とその術技法
休憩	
講演7	二瓶 秀子 先生 演 題 ●d-ROMs/BAPテストからコンディションを探る
講演8	森 蔭 淳友 先生 演 題 ●スポーツ選手におけるBAPミネラルの大いなる可能性について
講演9	岩井 信市 先生 演 題 ●カテキンと抗酸化力のスポーツに対する可能性について
特別講演	川本 和久 先生 演 題 ●スポーツトレーニングとd-ROMs/BAPの関係を探る
閉 会	

活性酸素とスポーツ選手

活性酸素とは活性化された酸素のことで、酸化力が強い酸素です。呼吸によって1日に5000以上の酸素を体内に取り入れているといわれています。その酸素を使って食事で摂った栄養素を燃やし、エネルギーを作り出していますが、この過程で取り入れた酸素の約2%が活性酸素に変わるといわれています。

活性酸素は“人生の分かちがたい伴侶”であり、体内に侵入したウイルスや細菌への攻撃、そして血液の流れの制御、血圧のコントロールなどの多くの生理機能を行っています。しかし、これが過剰になった場合は、健康な細胞まで酸化してしまいます。

スポーツ選手は一般人よりも多くの酸素を摂取するため、必然的に体内で発生する活性酸素は多くなります。

抗酸化力とスポーツ選手

抗酸化力とはこうした活性酸素が細胞や細胞外組織にダメージを与えないようにするために生体内に備わっている機能です。体内のフリーラジカル・活性酸素(ROS:活性酸素種)レベルは、身体が持つ抗酸化力で常にコントロールされています。

抗酸化物質は、細胞内外に存在しているスーパーオキシジスムターゼ(SOD)・ペルオキシターゼ・カタラーゼなどの酵素、血液中のアルブミン、尿酸といった体内で作ることができない「内因性抗酸化物質」と、体内では作り出すことが出来ない果物、野菜、魚など食事などから摂取する、ミネラル・ビタミン類・親脂質性化合物などの「外因性抗酸化物質」があります。

スポーツ選手は一般人よりも内因性の抗酸化物質を作る機能が高くなっていますが、より抗酸化力の高い食品を積極的に摂取する必要があります。

酸化ストレス・抗酸化力の測定

酸化ストレスとは生体内の活性酸素の生成と抗酸化力に不均衡が生じ、酸化に傾いた状態を言います。酸化ストレス状態は、正常な細胞や内臓、血管内皮細胞を傷つけ、疲労の蓄積、パフォーマンスの低下、さらには早期の老化や100以上の疾患を引き起こす原因となります。このため、私たちは良好な酸化バランスを維持するために、定期的に酸化ストレスの状態をモニターする必要があります。スポーツ選手のコンディションを評価する客観的な指標になります。

d-ROMsテスト(Reactive Oxygen Metabolites:活性酸素代謝物テスト)は血清/血漿サンプルのトータルの酸化能力を調べるのに適した方法で、身体が作りだしている活性酸素の量を正確に反映したもとなっています。

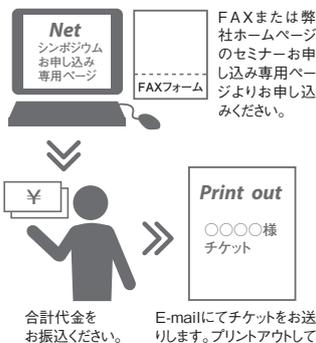
BAPテスト(Biological Antioxidant Potential evaluation:生体抗酸化能テスト)は血清/血漿サンプルの抗酸化力を調べるのに適した方法で、活性酸素からの攻撃に対して私たちの身体が対抗できる能力を反映したものです。

酸素注入法とスポーツ選手

酸素注入法とは注射針を使わずに、非侵襲で酸素不足の部位に酸素を注入する方法です。従来の呼吸から高濃度の酸素を吸入するのは違い、酸化ストレス状態にすることがありません。この酸素注入法は欧州では元々、美容分野で使われていましたが、近年、スポーツ分野での応用が目立っています。トレーニング後の疲労回復、スポーツ外傷など幅広い応用が期待されています。

- 日時 / 2015年11月1日(日) 12:30 ~ 17:00(受付 11:45 ~)
- 会場 / 秋葉原コンベンションホール
東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル2F
- セミナー参加費 / 一般¥10,000 ユーザー¥5,000円 *通訳付
- 定員 / 150名(定員になり次第締め切らせて頂きます)
- 懇親会 / 参加費:5,000円 場所:秋葉原UDX3F「鹿鳴春」
時間:17:30 ~ 19:00
- お申し込み方法 / FAX またはホームページよりお申し込み下さい。
1回で1名様のお申し込みとなります。複数枚ご希望の方はお手数ですが、人数分のお申し込みをお願いいたします。お申し込み後参加費を2015年10月23日(金)までにお振込み下さい。お振込み確認後チケットをE-mailにてお送りいたします。プリントアウトして当日必ずお持ち下さい。
- お申し込み期限 / 2015年10月23日(金)
数に限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。
- お振込先 / 三菱東京UFJ銀行 神田駅前支店普通口座
1628237 株式会社ウイスマー
- お問い合わせ / TEL.03-5802-7333 E-mail info@wismerll.co.jp

お申し込みの流れ



アクセスマップ

- JR秋葉原駅(電気街口)改札出て右側…徒歩1分
- 東京外口銀座線 未広町駅(1-3番出口) …徒歩3分
- 東京外口日比谷線 秋葉原駅(2-3番出口) …徒歩4分

秋葉原コンベンションホール
東京都千代田区外神田 1-18-13
秋葉原ダイビル2F

●秋葉原ダイビル駐車場
・営業時間:6:00~23:00
・1日料金:¥2,000
・時間駐車料金:¥100/10分
TEL 03-5289-0289

※車で越しのお客様はビル内の駐車場をご利用ください。

FAXでお申し込みの方はこちらのFAXフォームをご利用ください。

■下記のいずれかにチェックを入れてください。

- 第2回スポーツと酸化ストレス抗酸化セミナーに参加します。 < ウイスマー製品ユーザー ノンユーザー >
- 懇親会に < 参加します しません > 別途5,000円となります。

ふりがな	E-mail
御名前	@
	※チケットをE-mailにて発券いたします。必ずご記入ください。
御住所 (〒 -)	御組織名
	役職名
TEL. FAX.	お振込予定日
お振込名義	※お申し込み氏名とお振込名が異なる場合、必ずご記入ください。
備考	月 日